

# 大学院 2012 年度版 シラバス記入フォーム

タイトル行込み 38 行(1 行全角 38 文字、最大 1440 文字)以内。

いずれの項目も具体的に記載をお願いします。

お手数ですが、データでの送付にご協力願います。

授業科目名： アカデミックリテラシー

プログラムマスタ： 岡村 光浩 担当教員名： 岡村 光浩

開講希望： 前期 ・ 後期 曜日： 水 時限： 2

英語表記： Academic Literacy

授業目的・方針、到達目標（200 文字程度で） ※授業概要含む。

演習形式で Academic Writing の基礎（文章作法は日本語の論文執筆にも役立つ）を学ぶことを通じて、研究者として求められる発信力を養う。自らの研究テーマを英語で（日本語でも）説明できるスキルを身につけることを目標とする。特別講義ではネイティブスピーカーによるワークショップ等を予定。

授業内容（各回 30 文字程度で、15 回全てをご記入ください）

- 1: オリエンテーション(授業の概要説明、自己紹介と受講者スキルの現状把握、参考文献紹介等)
- 2: Paragraph Writing (1) Format, Structure, Spelling and Grammar
- 3: Paragraph Writing (2) Unity and Coherence / Essay Writing (1) From Paragraph to Essay
- 4: Essay Writing (2) Basic Structure for Academic Writing
- 5: <振替> 研究科発表会（前期 M2）に原則終日（自分の専門外も含む）参加し発表を聞くこと。
- 6: 研究科発表会（前期 M2）レジュメ並びに当日の発表を素材としてディスカッション
- 7: Essay Writing (3) How to Avoid Plagiarism and Acknowledge Your Sources
- 8: Effective Reading (1) Two Rules, Two Steps, Using Dictionaries, Paraphrasing
- 9: Effective Reading (2) Writing Summaries
- 10: Effective Reading (3) Writing Critical Evaluations / 研究テーマ英文 Abstract 作成(1)
- 11: 研究テーマ英文 Abstract 作成(2)（草稿を素材にディスカッション）
- 12: <特別講師予定> 発想法のヒント（仮題：マインドマップのワークショップを予定）
- 13: <特別講師予定> Introduction for Academic Writing (1)（仮題）
- 14: <特別講師予定> Introduction for Academic Writing (2)（仮題）
- 15: <特別講師予定> 研究者として生き残るために－「ニホン英語」のすすめ（仮題）

履修の注意（専門分野による履修制限等）

本講義は主に「非ネイティブスピーカー向け」「論文執筆（作品制作ではない）」を想定していることに留意のこと。作品のコンセプトシート等への指導もできる限り行うが、「デザイナー／アーティストでない者が読んで（聞いて）理解できるか」という視点からの助言が主になることを了解の上受講されたい。

評価方法（試験、レポート提出、課題提出など）※院は定期試験なし。

提出課題の状況並びに完成度・参加姿勢等により総合的に評価する。

使用テキスト、参考テキスト

慶應義塾大学経済学部英語部会『Study Skills for College English, 2<sup>nd</sup> Edition』（慶應義塾大学出版会、2011 年）ほか、担当講師より指示する。

各自準備物（受講の際、準備させる物があれば具体的に）

英語辞書（紙推奨）：学研『アンカーコズミカ英和』、大修館『ジーニアス英和・和英』等  
実習費等（必要な場合）

その他（その他注意事項、受講生へのメッセージなど）

1. 課題として自分の研究テーマを日本語・英語で説明（Abstract 作成）することになるので、そのつもりで考えておくこと。
2. 特別講師招聘等の都合により講義日程が変更になる場合がある。その他詳細は担当講師より指示する。